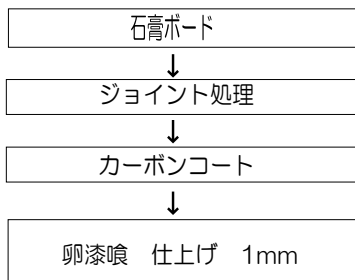
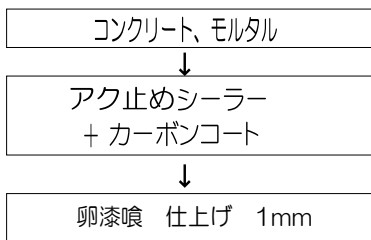


※日本エムテクス製品専用の下地作りのマニュアルがございます。
必ずそのマニュアルに従い下地を作ってください。

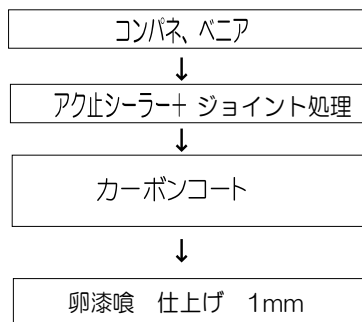
●石膏ボード下地の場合



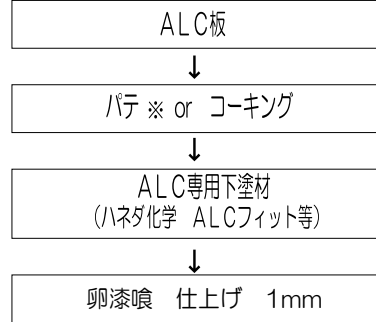
●コンクリート、モルタル下地の場合



●コンパネ、ベニア下地の場合



●ALC板下地の場合



※粉パテはやせの少ないものを使用してください。
※ファイバーテープ、パテ、下塗りは各メーカーの指示に従い、施工してください。
※コンパネやベニアと石膏ボードなど異なる下地が混在する面には、下地の条件を同一にするために全面にシーラー処理を行って下さい。
※耐力壁下地の場合は必ずアク止め処理をしてください。

※下地処理の注意事項

下地の表面の不純物を取除き、表面の清掃を行い、表面に露出している鉄筋、ボルト、ビス、釘等の金属には防サビ処理を行なってください。
また、下地の不陸がないか、ジョイント部の受け材等が正確に継ぎ目に位置しているか確認し、施工を行う前に平滑な下地処理をしてください。

※ご不明な点は当社までご相談下さい。

注意事項

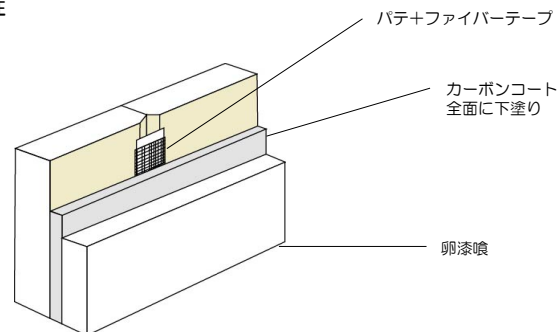
■施工上の注意

※本製品は予め練った状態の製品ですが、漆喰の性質上多少材料が締め気味になっております。
自動攪拌機で十分に攪拌して下さい。
※天然原料を使用していますので、ロットにより多少の色のはらつきがございます。
※施工後、急激な乾燥は避けてください。
※施工後24時間以内に気温が5度以下になる場合には施工を避けて下さい。

※本製品及び施工要領は改良の為予告無く変更することがございます。
予めご了承ください。

製造元 日本エムテクス株式会社

■仕上工程



※ビス頭も同様のパテ処理を行い不陸調整をしてください。
(ビス頭はファイバーテープ不要)

■塗り厚

1缶：20kg

| 塗り厚 | 1袋あたり塗り面積 |
|-----|-----------|
| 1mm | 約10~12㎡ |

■練り方

そのまま自動攪拌機で10分程度攪拌して下さい。

■塗り方

※施工前に日本エムテクス製品共通下地の作り方が遵守されているか確認してください。

1. 材料を塗りつけ、塗り厚を均等にしながら行ってください。
2. その後パターン付けを行ってください。
3. コテ押さえをする場合には塗りつけた後、水引の加減を見ながら押さえて下さい。
(気象条件や押さえかたにより照りが出ることがありますのでご注意ください。)

※パテはやせの少ないものを使用してください。漆喰系のパテは使わないで下さい。
※出隅・入隅処理については別紙の通り施工してください。

■お客様への注意

※本製品はポリペール缶に入っておりますが、高温多湿の場所での保管は避け開封したら使い切ってください。
※本製品は食べ物ではありません。口や目・鼻などにはいらないようにご注意ください。
※本製品に有害物質は含まれていませんが、万一皮膚へ付着したり、目や鼻・口に入った場合、速やかに洗い流し、専門医の指示に従い、処置して下さい。